



「体調悪いな・・・」と思ったら 病院へ行きましょう！

日本での生活に慣れてきても、病気になった時やケガをした時に病院に行ってますか？

FICECが受ける生活相談の内容から、外国人が病院に行くには「日本語が話せない」、「外国語で話せる医者が少ない」の他にもたくさんのハードルがあることが分かりました。

令和3年度出入国管理庁の調査では

「病院への行き方がわからない」(23%)、「病院で症状を正確に伝えられなかった」(22%)

との結果もありました。

母国での習慣やライフスタイルもありますが、病院に行くのが遅れると取り返しのつかないことになる可能性もあります。「変だな」と思ったら、手遅れにならないように病院に行きましょう。

A 「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)」で認証されている病院を紹介します。

1	埼玉医科大学国際医療センター	日高市大字山根 1397-1	042-984-4111
2	羽生総合病院	羽生市大字下岩瀬 446	048-562-3000
3	さいたま赤十字病院	さいたま市中央区新都心 1-5	048-852-1111



B こちらは入院を要する外国人の救急患者に対応できる病院です。



jnto.go.jp

TMG 宗岡中央病院	志木市上宗岡 5-14-50	048-472-9211
あおば台診療所	朝霞市宮戸 3-8-2	048-474-5270
医療法人信猶会菊池病院	深谷市上野台 371	048-571-0660
おうえんポリクリニック	所沢市中富 1037-1	04-2990-5818
松本内科	さいたま市大宮区堀の内町 1-330	048-649-3533
坂戸中央病院	坂戸市南町 30-8	049-283-0019
上福岡総合病院	ふじみ野市福岡 931	049-266-0111

※ふじみ野市の上福岡総合病院の産婦人科には中国人の医師がいます。

FICEC は相談、病院案内でサポートします。

FICECは専門性を必要とするリスクが高い「医療通訳」を行うことはできませんが、病院までの案内や印刷物、説明書の翻訳(有償)を行うことはできます。病院へ行くお金がない場合は、国や自治体の支援を案内します。また、一部の病院には無料低額診療制度があり、病院での治療費、薬代のサポートを受けることができますのでご相談ください。

▶ 予想外の入学準備金

小学校に入学するための費用はいくらかかるのでしょうか？

日本の教育は中学までは無償とされています。確かに公立の学校は、授業料が無料です。そして教科書も無償配布されます。でも小学校に入学するには他にもたくさんの準備が必要で、お金がかかるのです。

自治体によって多少違いはありますが、入学前に次のものを各自で購入します。



・ランドセル（3～7万円）・通学帽・上履き・上履き入れ・体操着・紅白帽・体操着袋・給食セット・ランチョンマット・歯みがきセット・筆箱・文房具（赤・青鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、15センチの定規、色鉛筆、下敷き、ハサミ、糊、セロハンテープ、粘土、クレパス）、お道具箱・防災頭巾（普段は座布団として、緊急時は防災頭巾として使う）・連絡帳・水筒・雨具・手提げ袋・各教科のノートやドリルなど

などなど、本当にたくさんのものが必要です。そして、用意したものにはすべて名前を記入しなければなりません。鉛筆にも1本1本、すべてに記名します。

また、入学時だけでなくピアノなど入学してから購入するものもあります。

▶ 入学説明会 1月か2月に開催する「入学説明会」で詳しい説明があります。

※入学予定の子どもがいる家庭には「入学説明会の案内」のはがきが届きます。

入学準備金に困ったときは、就学支援を受けることができます。市役所に早めに相談してください。

FICECにも相談してください。ランドセルのストックがあります。

中学校入学には、さらに制服やジャージ、新たな教材が必要です。

ふじみ野市では中学校の制服やジャージ服は卒業生が寄付したものがあります。

福祉総合相談センター（049-262-8130）

▶ 子どもたちが楽しく、希望を持って入学できるよう入学の準備、頑張りましょう！

2/4

ふじみ野市 『市民活動交流会』

FICECは活動紹介の展示で参加します。
歌やダンス、ハンドメイドコーナー、健康チェック（骨密度・握力）、高校生によるお茶室もあります。
遊びに来てください。

■会場／ふじみ野市「フクトピア」

■日時／2/4（日）10:00～15:00



「生活ガイドホームページ」に ベトナム語版ができました！



- ・在留資格
- ・子育て・教育
- ・医療・仕事
- ・各種相談など

